

質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2024 年 6 月 5 日

「バングラデシュ国保健セクタープログラム情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))」
(公示日:2024 年 5 月 29 日/調達管理番号:24a00304)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	2-3 頁「(3)共同企業対の結成の可否」	共同体結成届には、各構成員の代表者印または社員の押印が必要となっていますが、電子署名でも問題ないでしょうか？	はい。電子署名でも可能です。 下記のリンクをご参照ください。 コンサルタント等契約に係る見積書及び請求書の電子データ提出及び押印の取扱いについて 調達情報 JICA について - JICA
2	13 頁 (5)拠点病院など大型インフラニーズに係る情報収集及び課題分析	拠点病院は具体的にどこの病院でしょうか？ 地方の病院も含まれるのでしょうか？ またはこちらから提案するのでしょうか？	バングラデシュにおける同国の拠点病院との意味で、JICA の指定する拠点病院ではございません。地方の病院も含まれる可能性があります。 第 6 条(7)大型インフラニーズに関する情報収集・分析を踏まえ、ご提案をいただけますと幸いです。
3	13 頁「(5)拠点病院など大型インフラニーズに係る情報収集及び課題分析 16 頁「(7)大型インフラニーズに関する情報収集・分析	説明書の中で具体的に名前が挙げられている大型インフラは、ダッカ医科大学病院のみです。ほかの施設については、調査の中で特定し、調査対象とすることでよろしいでしょうか？もしくは、既にバングラデシュ側から要請があがっている施設や JICA として調査を希望している具体的な施設はありますか？	保健省からはダッカ医科大学病院以外について、4 医科大学病院の新規建設、8 管区における医科大学病院の改築等についての可能性を聞いていますが、特定の名称はまだ得られていないため、調査を通じて情報収集・分析頂けますと幸いです。

<p>4</p>	<p>13 頁 第 2 章 特記仕様書 第 5 条 実施方針及び留意事項 (5) 拠点病院など大型インフラニーズに係る情報収集及び課題分析 15 頁 第 6 条 調査の内容 (4) 保健セクタープログラムのドナー協調に係る情報収集・分析 2) 16 頁 第 6 条 調査の内容 (7) 大型インフラニーズに関する情報収集・分析 3)</p>	<p>左記 3 項目に表記されている「DPP」という略語は何を示すのか、正式名称及びその意味する内容についてご説明いただけたら幸いです。</p>	<p>Development Project Proposal/Proforma の略です。バングラデシュにおける開発予算を活用した事業実施については、バ政府による DPP の承認が必要です。日本の ODA で言えば、有償資金協力と無償資金協力などのプロジェクトに関して、DPP の承認が不可欠となります。保健セクターでは、バ国政府の保健セクタープログラムの Program Implementation Plan(PIP) を ECNEC (Executive Committee of the National Economic Council) で承認しており、この PIP 及びその詳細計画 (Operational Plan, OP) に含まれる案件については、これら PIP/OP が DPP に相当するため、個別の DPP の承認は必要ないとされています。一方、セクタープログラムに含まれない案件は DPP の承認が必要になります。</p>
<p>5</p>	<p>15 頁 第 2 章 特記仕様書 第 6 条 調査の内容 (4) 保健セクタープログラムのドナー協調に係る情報収集・分析 2)</p>	<p>「TAPP」という略語は何を示すのか正式名称及びその意味する内容についてご説明いただけたら幸いです。</p>	<p>Technical Assistance Project Proposal/Proforma の略です。バングラデシュ国内における技術協力プロジェクトや一部の機材供与プロジェクトについては、バ政府による TAPP の承認が必要です。保健セクターでは、バ国政府の保健セクタープログラムの Program Implementation Plan(PIP) を ECNEC で承認しており、この PIP 及びその詳細計画 (Operational Plan, OP) に含まれる案件については、これら PIP/OP が TAPP に相当するため、個別の TAPP の承認は必要ないとされてい</p>

			ます。一方、セクタープログラムに含まれない案件は TAPP の承認が必要になります。
6	15 頁「(4) 保健セクタープログラムのドナー協調に係る情報収集・分析」の 3)	「成果連動型借款(DBL)」とありますが、DBL は何の略語でしょうか？	正しくは「RBL (Result Based Lending)」で、成果連動型借款の呼称です。大変失礼いたしました。
7	15 頁「(4) 保健セクタープログラムのドナー協調に係る情報収集・分析」の 5)	「...(根拠や選定の根拠や意思決定に関するフロー...）」とあり、根拠が二回続いており、意味がわかりづらく。正しくは「選定の根拠や意思決定に関するフロー」となりますでしょうか？	正しくは「選定の根拠や意思決定に関するフロー」です。ご指摘頂きましてありがとうございます。
8	17 頁「(10) JICA の今後の協力方針及び援助アプローチ(有償、無償、技協の各スキームを想定)の提言」	「案件の提案に当たっては以下の 1)~5)を提示すること。」とありますが、「5)」がありません。「・有償資金協力」とあるひとつ前の行に、何がはいるのでしょうか？	正しくは「案件の提案に当たっては以下の 1)~4)を提示すること。」です。ご指摘頂きましてありがとうございます。
9	22 頁 第 3 章 技術提案書作成要領 1. 技術提案書作成に係る要件 (5)配布資料／公開資料等	HPSNP に関して、バングラデシュ政府公開情報の他に、貴機構で入手されている資料(配布資料)はございませんでしょうか。	5 th HPSNP について、コンセプトペーパー等入手しておりますが非公開資料ですので、Web 上での配布は差し控えさせていただきます。 4 th HPSNP につきましては、以下リンクを参照頂けますと幸いです。 ・Health Bulletin 2020 lhb_2020.pdf (dghs.gov.bd) ・4 th HPNSP Program Implementation Report (PIR), Jan-Dec2017 PIR_2017.pdf ・4 th HPNSP Ops 4th Sector Program (HPNSP) (dghs.gov.bd) HPNSDP (mohfw.gov.bd)

			4th sector plan Operational Plan (OP) (dgfp.gov.bd)
10	26 頁 第 3 章 技術提案書作成要領 2. 技術提案書作成上の留意点 (1)コンサルタント等の法人としての経験、能力	「* 評価対象とする類似業務」は記載の通りでしょうか。	正しくは「保健分野の ODA 事業に係る各種支援業務。なお、社会脆弱層支援に係る各種支援業務の経験を有することが望ましい。」です。ご指摘頂きましてありがとうございます。
11	26 頁「(1)コンサルタント等の法人としての経験、能力」	「評価対象とする類似業務: 社会保障分野の ODA 事業に係る各種支援業務。なお、脆弱層支援に係る各種支援業務の経験を有することが望ましい。」とありますが、これは正しい内容でしょうか。本企画競争説明書に、高齢化や脆弱層に係る記載はあるものの、本調査は NCD 対策や看護教育、インフラ整備等、社会保障の拡充よりも、保健システム強化により重点が置かれているように考えられたほか、全く同じ文章が 2023 年 11 月公示された「バングラデシュ国社会保障セクターに係る情報収集・確認調査」の企画競争説明書にあったため、誤記の可能性があると考えられました。	同上です。

以上